

平成21年10月1日施行

高速道路における車間距離不保持の反則金等が引き上げられました。

注：「高速道路」とは、高速自動車国道及び自動車専用道路をいいます。

道路交通法の一部改正により、高速道路における車間距離不保持に係る法定刑が5万円以下の罰金から、3月以下の懲役又は5万円以下の罰金に引き上げられることに伴い、交通違反点数及び反則金の額が以下のとおり引き上げられます。

交通違反点数 「1点」 → 「2点」
反則金の額（普通車の場合） 「6千円」 → 「9千円」
（大型車の場合） 「7千円」 → 「1万2千円」
（二輪車の場合） 「6千円」 → 「7千円」

追突事故の大きな要因となる車間距離不保持は、以下のとおり、特に高速道路において一層危険性が高いことから、今回の改正により反則金等が引き上げられたものです。

高速道路上の人身事故の 7割近くが追突事故

高速道路上の人身事故のうち、追突事故は7割近くを占め最も多い

高速道路	人身事故 (件)	うち追突事故件数 (件)	追突事故 構成率
平成19年	12,674	8,371	66.0%
平成20年	10,965	7,340	66.9%

高速道路上の追突事故の 被害は甚大

高速道路上の追突事故における死亡事故の割合は、一般道路の約6倍と危険性が高い

		追突事故件数 (件)	うち死亡事故件数 (件)	死亡事故割合
平成19年	高速道路	8,371	56	0.67%
	一般道路 (高速道路含む)	260,968	294	0.11%
平成20年	高速道路	7,340	45	0.61%
	一般道路 (高速道路含む)	239,236	266	0.11%

車間距離不保持、中でもあおり行為は、危険性が非常に高く、法令に従って運転している前車に強い不快感・恐怖感を与える悪質性の高い違反行為です。

天候、路面やタイヤの状態、荷物の重さなどを踏まえ、前車が急に止まっても追突しないような安全な車間距離をとらなければなりません。

高速道路では、時速100kmでは約100m、時速80kmでは約80mと十分な車間距離をとることが必要であり、路面が雨にぬれ、タイヤがすり減っている場合は、この約2倍程度の車間距離が必要となることがあります。

追突事故防止のためばかりではなく、あらゆる交通事故を防ぐためにも、十分な車間距離をとり余裕を持って運転することが必要です。

広島県警察